

GWI (IFUW) Update 2016年6月29日号

月経が世界の女兒の教育の障害に

多くの発展途上国では、月経が高い率で中等学校を中退する要因となっている。十分なトイレ設備または生理用品の不足からで、特に郡部、サハラ以南のアフリカで顕著になっている。サハラ以南のアフリカでは、月経のために月に4日間欠席する女兒は、学期あたり2週間に匹敵する13日の学習日を失うこととなる。4年間の高等学校で見積もると、156日間の学習、これはほぼ144週のうち24週間分の学習日のロスとなる。中等教育およびその後の教育でジェンダー平等を達成するための積極的な行動としては、コミュニティと関わりながら女兒への教育の利点を浸透させたり、生理などジェンダー特有の事柄への蔑視を男子、青年たちから取り除くことである。GWIと世界各地のGWI加入会員、組織は、提唱活動と[プロジェクト](#)を通じて、女兒と女性を包摂的な教育アクセスから阻む障壁に挑んでいる。

GWI (IFUW) Update 2016年6月22日号

GWIは女兒の教育ネットワークのために世界事務局の役割を果たす

地域で女兒の教育を先導してきた立役者の大部分は注目されてこなかった。世界各地の地域社会の先達は、不適切な公的資金調達、乏しい学習成果やジェンダーの不平等のような現実の難題にもかかわらず、困難な状況にもめげることなく、女兒に安全で良質な教育を提供することによって問題を徐々に克服している。これらの努力を支援し、数百万人の女兒の中等学校入学と在籍保持を可能にするためのネットワークの範囲や構想を集団で創り出すことを目指す、多数の関係者によるプロセスが、Brookings Institution 大学教育センターを中心として過去9か月間進行中である。そのプロセスは世界20ヵ国以上150を超える地方の女兒教育の推進者達によって進められてきた。GWIはそのネットワークの世界事務局の役割を果たすだろう。地方の女兒教育の推進者たちを異なる部門、地域や国を越えて他の組織やネットワークとつなぎ、それによって互いに学び、支援し、その声を拡大出来るようになるだろう。詳細は[ここをクリック](#)

GWI (IFUW) Update 2016年6月15日号

南アフリカ・ケープタウンにおけるGWI総会の講演者

2016年8月24-26日のGWI総会では、Matsie Angelina Motshekga 大臣と、著名な大学教授であり人権活動家であるJonathan Jansen 教授の臨席を賜り、触発されるような講話が伺えよう。Matsie Argelina Motshekga女史は南アフリカの初等教育大臣である。彼女は、Witwatersrand 大学とSoweto教育大学の講師を務めてきた。Jonathan Jansen 氏はFree State 大学の副総長であり主任司祭であり、南アフリカ人種関係協会の会長である。彼の著書“Knowledge in the Blood: Confronting Race and the Apartheid Past“ (Stanford 2009)は、アメリカ図書館協会によりその年の最優秀図書のリストに載った。「教育・ジェンダー・人権の十字路口に立つて」をテーマとする本会議に登録するには、<http://gwicoference.org/> から。

GWI (IFUW) Update 2016年6月8日号

各国の大学女性連盟・協会 (NFAs)、放つ多彩な功績

GWIメンバーは、教育を通して女性と女兒を可能な限り高いレベルまで能力を伸ばすというGWIの使命に、心から献身する女性たちである。加盟の各国大学女性連盟・協会において、様々な事業が実施されている。韓国の大学女性協会 [Korean Association of University Women \(KAUW\)](#) は、韓国内の優れた大学院生への奨学金授与と同様に、ヴェトナム女性の経済的自立のための職業訓練として、ヴェトナム・ゲアン省で行っている女性訓練プログラムで成功をおさめている。香港大学女性協会 [Hong Kong Association of University Women \(HKAUW\)](#) は、好調な奨学金プログラムに加えて、GWI主催の、郡部で女性教師を養成するプロジェクト [Teachers for Rural Futures Project](#) への資金調達に熱心に取り組んでいる。シエラレオネ大学女性協会 [Sierra Leone Association of University Women \(SLAUW\)](#) は、新規プロジェクト「女兒の通学継続のためのコミュニティー活動」の資金を確保した。GWIの目的に賛同し独立会員となるには [こちら](#) を参照。

GWI (IFUW) Update 2016年6月1日号

スウェーデンの大学女性協会、大卒女性難民を支援

GWIの一員である [Swedish University Women \(KAF\)](#) が大卒女性に対する差別を撤廃し社会に同等の身分で組み込むための新たな取組みを行っている。KAF会員が、海外からスウェーデンへ入国したばかりの女性たちに呼びかけ、就職活動に向けた専門家同士の交流や技術向上の機会および文化固有の助言を提供する、というものだ。

GWIは、かねてより、戦争や政変、その他深刻な緊急事態により行き場をなくした大卒女性たちに対して手を差し伸べてきた実績がある。1936年にIFUW Emergency Fund基金が設立され、自国で居住し働く権利を奪われた女性たちを援助してきた。現在は、スイス人でその基金調達者である活動家にちなみヘッグ・ホフエット基金と改名されているが、GWIの加盟国はこの伝統を継承し、流入する女性たちをそれぞれの受け入れ先の社会へ統合する手助けをしている。[Hegg Hoffet基金の詳細と寄付の案内はこちらを参照。](#)